

(別紙2)

学年	原典 ページ	行	変更 事項	変 更 内 容	備 考
3 年	10		変更	「ノートをつくり方」については、ノートをつくる ときのポイントを先に列挙したあと、ノートの例 を示した。また、ノートの例は点字で書けるように 次のように変更した。 (ノートの例1) 5月9日(金) 教科書 p メ 工夫して 98×102 を計算しましょう。 (自分の考え) 98×102 $= 98 \times (100 + 2)$ $= 98 \times 100 + 98 \times 2$ $= 9800 + 196$ $= 9996$ 102 を 100 と 2 に分けて分配法則を使った。 (かんなの考え) 98 の方も変えて計算した。 98×102 $= (100 - 2)(100 + 2)$ $= 10000 - 4$ $= 9996$ 展開の公式 $(a + b)(a - b) = a^2 - b^2$ が使える。 (ノートの例2) 9月18日(水) 教科書 p メ (トライ1) 関数 $y = x^2$ について、x の変域が $-1 \leq x \leq 2$ であ るとき、y の変域を求めましょう。 $x = -1$ のとき $y = (-1)^2 = 1$ $x = 2$ のとき $y = 2^2 = 4$ よって y の変域は $1 \leq y \leq 4$	編集の具体的内容(3) ①③ ノートの日付につい て、原典教科書は伏字 となっているが、点字 の場合、メの字を伏字 として用いた場合と数 字ではその後のマス空 けが異なるため、仮の 日付を入れた。 また、教科書のページ も「p メ」とした。

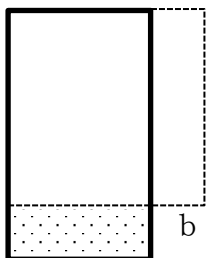
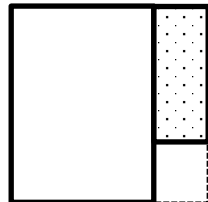
(別紙 2)

11	15	変更	例 4 において、約分した状態を改めて分数の形に書き直した。	編集の具体的内容(3)①
11	19	変更	例 5 において、式変形の途中の吹き出しについては、式の間に () で挿入した。 以下、同種の問題は、同様に変更した。	編集の具体的内容(3)①
12	3	変更	先生のセリフにおいて、「□のように」を「枠で囲まれた 2, 3, 9, 10 のように」と変更した。	編集の具体的内容(3)①
12	8	変更 削除	かんなの考えの囲みを削除し、「2, 3, 9, 10 を囲んだときは、」と「7, 8, 14, 15 を囲んだときは、」にそれぞれ言葉で示した。 以下、同種の部分は、同様に変更した。	編集の具体的内容(3)①
12	10	変更	みかのセリフの「□の場所」を「囲む場所」と変更した。 以下、同種の部分は、同様に変更した。	編集の具体的内容(3)①
13	1	変更	「見つけたもののほかに、」を「見つけた「4 つの数をすべてたすと 4 の倍数になる」ことのほかに」と変更した。	編集の具体的内容(3)①
13	5	変更	下線を省略し、「」で囲んだ。	編集の具体的内容(3)①
13	7	変更	先生のセリフの「試してみましょう。」を「考えてみましょう。」と変更した。	編集の具体的内容(3)①
14	5	削除	みかとまなとのセリフに対応した図を、削除した。	編集の具体的内容(3)①
14	7	変更	囲みを次のように表し、文章の後に挿入した。 (メモ) $2(a + 3b) = 2 \times a + 2 \times 3b$	編集の具体的内容(3)①
14	10 12	削除	例 1 に関する囲みを削除した。	編集の具体的内容(3)①
15	17	変更	下線を省略し、式変形の間に、 $(3x^2 \text{ と } x^2, +6x \text{ と } -x \text{ は同類項})$ と挿入した。	編集の具体的内容(3)①
16	4 6	削除	かんなとひびきのセリフに対応した図を、削除した。	編集の具体的内容(3)①
16	20	変更	式中の矢印や番号を削除し、右側の図の①～④を「a c」, 「a d」, 「b c」, 「b d」と変更した。	編集の具体的内容(3)①
17	3	削除	例 1 1. に関する囲みを削除した。	編集の具体的内容(3)①
17	7	変更	下線を省略し、式変形の間に、 $(+x \text{ と } +3x \text{ は同類項})$ と挿入した。	編集の具体的内容(3)①
17	9	変更	下線を省略し、式変形の間に、 $(-8a \text{ と } -3a \text{ は同類項})$ と挿入した。	編集の具体的内容(3)①
17	18	変更	下線を省略し、式変形の間に、 $(+3xy \text{ と } -xy)$	編集の具体的内容(3)①

(別紙 2)

			は同類項) と挿入した。	
18	4	変更	トライ 1 に出てくる○は (ア) , □は (イ) と表現した。	編集の具体的内容 (3) ①
18	8	変更 削除	右側の囲みを削除し, かなのセリフ中の 「 $x^2 + 2x + x + 2$ 」を 「 $(x + 1)(x + 2) = x^2 + 2x + x + 2$ 」と変更した。	編集の具体的内容 (3) ①
19	1 ~ 3	変更	○は (ア) , □は (イ) と表現した。	編集の具体的内容 (3) ①
19	7	変更	例 1 の囲みを削除し, 例 1 の後に次の文章を追加した。 (メモ) 左辺の + 2 と + 3 の和が右辺の x の係数 + 5 となり, 左辺の + 2 と + 3 の積が右辺の定数項 + 6 となる。	編集の具体的内容 (3) ①
19	13	変更	例 2 の囲みを削除し, 例 2 の後に次の文章を追加した。 (メモ) 左辺の - 2 と + 4 の和が右辺の x の係数 + 2 となり, 左辺の - 2 と + 4 の積が右辺の定数項 - 8 となる。	編集の具体的内容 (3) ①
20	14	変更 削除	例 3 (1) の囲みを削除し, (1) の式の後に次の文章を追加した。 (メモ) 左辺の x を 2 乗したものが右辺の x^2 となり, 左辺の x と 3 の積を 2 倍したものが右辺の $2 \times x \times 3$ となり, 左辺の 3 を 2 乗したものが右辺の定数項 3^2 となる。	編集の具体的内容 (3) ①
20	16	変更 削除	例 3 (2) の囲みを削除し, (2) の式の後に次の文章を追加した。 (メモ) 左辺の x を 2 乗したものが右辺の x^2 となり, 左辺の x と 5 の積を 2 倍したものが右辺の $2 \times x \times 5$ となり, 左辺の 5 を 2 乗したものが右辺の定数項 5^2 となる。	編集の具体的内容 (3) ①
21	2	変更 削除	例 4 の囲みを削除し, 例 4 の後に (公式 2. において a が $3x$, b が $2y$ の場合。) と挿入した。	編集の具体的内容 (3) ①

(別紙 2)

21	図	変更	$(a + b)(a - b)$の展開に関する図について、点字では左から右、上から下に読むことを考慮し、次のように変更した。 1.  2. 	編集の具体的内容(3)①
21	13	変更	例5の囲みを削除し、例5の後に（公式4.においてaがx，bが4の場合。）と挿入した。	編集の具体的内容(3)①
21	19	変更	例6の囲みを削除し、例6の後に（公式4.においてaが2x，bが5の場合。）と挿入した。	編集の具体的内容(3)①
22	10	変更	例7の囲みを削除し、例7の後に（公式1.においてxが2xの場合。）と挿入した。	編集の具体的内容(3)①
25	10	変更	巻末資料を省略しているため、ルーのセリフを次のように変更した。 ルー「厚紙を用意して並べてみよう。」	編集の具体的内容(3)①
25	16 18	削除	まなととみかのセリフに対応した図を、削除した。	編集の具体的内容(3)①
26	19	削除	因数の関係を示した囲みについて、本文と同じ内容のため削除した。	編集の具体的内容(3)①
26	24	変更	展開と因数分解の関係を示した囲みを、次のように変更した。 (メモ) $(x + 1)(x + 2)$を展開すると$x^2 + 3x + 2$になり、$x^2 + 3x + 2$を因数分解すると$(x + 1)(x + 2)$になる。	編集の具体的内容(3)①
27	16	変更	例2の解答例の右側の囲みについて、色を省略した上で、共通な因数を示すために、「共通な因数は2，2，x，y」を追加した。	編集の具体的内容(3)①
28	3， 4	変更	○はa，□はbと表現した。	編集の具体的内容(3)①
28	9	変更	$x^2 + 5x + 6$ を因数分解する際の囲みを削除し、本文の後に（公式1.の，a + bが5，abが6として考えた。）と挿入した。	編集の具体的内容(3)①

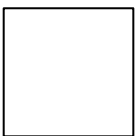
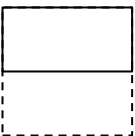
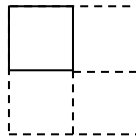
(別紙 2)

30	9	変更 削除	例 3 の囲みを削除し、例 3 の後に（公式 2. の a が x ， b が 3 の場合。）と挿入した。	編集の具体的内容(3)①
30	17	変更 削除	例 4 の囲みを削除し、例 4 の後に（公式 3. の a が x ， b が 6 の場合。）と挿入した。	編集の具体的内容(3)①
31	5	変更 削除	例 5 の囲みを削除し、例 3 の後に（公式 3. の a が $3x$ ， b が 4 の場合。）と挿入した。	編集の具体的内容(3)①
31	16	変更 削除	例 6 の囲みを削除し、例 6 の後に（公式 4. の a が x ， b が 5 の場合。）と挿入した。	編集の具体的内容(3)①
32	2	変更 削除	例 7 の囲みを削除し、例 7 の後に（公式 4. の a が $2x$ ， b が $3y$ の場合。）と挿入した。	編集の具体的内容(3)①
33	3	変更	かんなのセリフの前にある式変形を、かんなのセリフの後にした。	編集の具体的内容(3)①
33	11	変更	例 8 に関するルーのセリフを次のように変更した。 ルー「共通な因数をくくり出してから公式を利用する。この順で考えるといいね。」	編集の具体的内容(3)①
35	13	変更 削除	例 1 (1) の囲みを削除し、(1) の後に ($a^2 - b^2 = (a + b)(a - b)$ をもとに考える。) と挿入した。	編集の具体的内容(3)①
35	16	変更 削除	例 1 (2) の囲みを削除し、(2) の後に ($(a + b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ をもとに考える。) と挿入した。	編集の具体的内容(3)①
36	4	追加	代入して計算している様子を、かんなのセリフの前に入れ、(かんなの考え) とした。	編集の具体的内容(3)①
37	22	変更	問 4 のリード文を「～は…になる。」から「 $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ は $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ になる。」に変更した。	編集の具体的内容(3)①
38	7	削除	まなとのセリフに関する図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
40	4	変更 削除	囲みを「計算方法 1」とし、筆算を削除し、次のように文章化した。 ア. 25^2 の場合 答えの下 2 桁は 25，その上の 2 桁は $2 \times (2 + 1)$ にすると，答えである 625 になる。 イ. 35^2 の場合 答えの下 2 桁は 25，その上の 2 桁は $3 \times (3 + 1)$ にすると，答えである 1225 になる。	編集の具体的内容(3)①
40	21	変更 削除	囲みを「計算方法 2」とし、筆算を削除し、次のように文章化した。 ア. 62×68 の場合 答えの下 2 桁は 2×8 ，その上の 2 桁は $6 \times (6 + 1)$ にすると，答えである 4216 になる。	編集の具体的内容(3)①

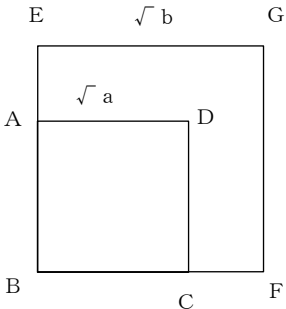
(別紙 2)

			イ. 27×23 の場合 答えの下 2 桁は 7×3 , その上の 2 桁は $2 \times (2 + 1)$ にすると, 答えである 621 になる。	
41	3	変更	本文において, 「□のように」を「2, 3, 9, 10 のように」と変更した。	編集の具体的内容(3)①
41	14	削除	証明の右側の囲みを削除した。	編集の具体的内容(3)①
43	10	変更	3において, 「斜線部分の図形について」を「点でうめられた図形について」に変更した。	編集の具体的内容(3)①
43	13	変更	4において, リード文を次のように変更した。 次の表 4 は, 「かけ算の九九の表」の一部です。 この表の中の $\begin{array}{cc} 6 & 9 \\ 8 & 12 \end{array}$ のような上下左右の 4 つの整数の組 $\begin{array}{cc} a & b \\ c & d \end{array}$ について, 次の問いに答えなさい。	編集の具体的内容(3)①
44	2	変更	本文の「カレンダーの□のように囲んだ 4 つの数について」を「カレンダーの中で囲まれた 4 つの数について」に変更した。	編集の具体的内容(3)①
44	16	変更	ルーのセリフにおいて, 次のように変更した。 ルー「ほかの囲み方についても考えてみよう。例えば, 図 20 1. 2. のような形があるね。」	編集の具体的内容(3)①
44	図	削除 変更	最初の 4 月のカレンダーは, 以前にも掲載されているため, 削除した。また, 囲み方を変えた図については, すべての数が書かれた中に囲みの線を入れると, 線と数字がかなり近接し, 認識しづらいため, 囲み線と内部の数のみとした,	編集の具体的内容(3)①
45	20	変更	3において, 素因数分解の計算を行う際に, 次のように墨字で行う方法と点字で行う方法で表した。 (メモ) 墨字では次の左の筆算のように計算するが, 点字では右のようにしてもよい。 例 1 $\begin{array}{r} 2 \overline{) 12} \\ \underline{2} \\ 0 \end{array}$ $\begin{array}{r} 12 \\ 6 \\ 3 \end{array}$ 例 2 $\begin{array}{r} 2 \overline{) 40} \\ \underline{2} \\ 0 \end{array}$ $\begin{array}{r} 40 \\ 20 \\ 20 \end{array}$	編集の具体的内容(3)⑥ 点字での書きやすさ (左から右へ) を考慮している。

(別紙 2)

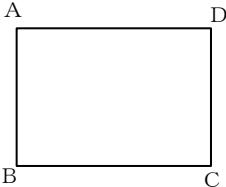
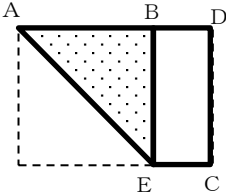
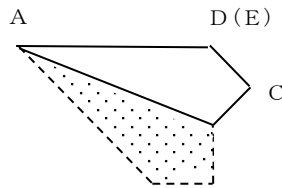
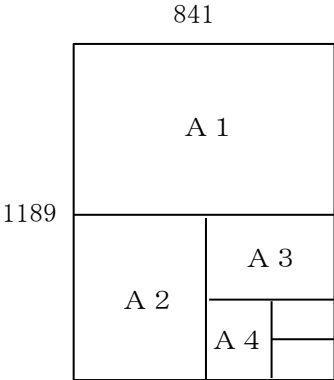
			$\begin{array}{r} 2 \overline{) 10} \\ 5 \end{array}$ $\begin{array}{r} 10 \\ 5 \end{array}$	
46	写真	変更	折り紙の写真を，次の図に変更した。 1.  2. 1 回折る  3. 2 回折る 	編集の具体的内容(3)②
48	5	削除	2 乗と平方根の関係を示した囲みについて，文章と同じ内容のため削除した。	編集の具体的内容(3)①
48	9	追加	±の表記の説明の部分は，次の文章を追加した。 (注) 墨字では，プラス記号+の下にマイナス記号－を書いてひとつの記号とし，±と書く。	編集の具体的内容(3)④
49	11	削除	Qの生徒たちのセリフの図については，伝えたい内容はセリフに含まれており，ここで掲載されている図は理解を助けるよりも読み取る負担の方が大きいと判断し，削除した。	編集の具体的内容(3)①
50	2	追加	記号$\sqrt{\quad}$の説明の部分は，次の文章を追加した。 (注) 墨字では，記号$\sqrt{\quad}$を$\sqrt{\quad}$と書く。	編集の具体的内容(3)④
50	5	変更 追加	ルーのセリフの中の「記号 $\sqrt{\quad}$ は」を「墨字の記号は」に変更し，セリフの後に，墨字の記号 $\sqrt{\quad}$ や r を点図でも示した。	編集の具体的内容(3)④
50	10	削除	例 2 の囲みについて，文章と同じ内容のため削除した。	編集の具体的内容(3)①
50	23	変更	問 4 のリード文の「計算機の $\sqrt{\quad}$ キーを使って」を「計算機などを使って」に変更した。	編集の具体的内容(3)① 音声電卓には $\sqrt{\quad}$ キーがないため，生徒が使える ICT 機器を活用するとよい。
51	1	削除	右の囲みについて，文章と同じ内容のため削除した。	編集の具体的内容(3)①
51	12	変更	トライ 2 のリード文の「次のうち」を「次の 6 個の数のうち」に変更した。	編集の具体的内容(3)①
52	8	変更	問 7 において，「下線部をなおして」を「() 内に示した部分をなおして」と変更し，1. 2. の下線が引かれた部分は下線を省略し，次のように下線部の内容を文末に()に入れて示した。 1. $\sqrt{25} = \pm 5$ である。(±5)	編集の具体的内容(3)①

(別紙 2)

			2. 9の平方根は3である。(3)	
53	9	変更	平方根の大小を示した図を、次のように変更した。 正方形A B C Dの面積がaのとき、ADの長さは$\sqrt{a}$になる。正方形E B F Gの面積がbのとき、E Gの長さは$\sqrt{b}$になる。 	編集の具体的内容(3)②
53	15	削除	例5について、図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
55	3	変更	トライ1のリード文の「次のうち」を「次の6個の数のうち」に変更した。	編集の具体的内容(3)①
56	17	削除	数に関する囲みを削除した。	編集の具体的内容(3)①
57	3	変更	トライ2の①と②をそれぞれ「グループ1. 」と「グループ2. 」と変更した。	編集の具体的内容(3)①
57	7	削除	割り算の筆算を削除した。	編集の具体的内容(3)①
57	11	変更	「循環小数は、循環する部分がわかるように、記号・を数字の上を書いて、次のように表す。」を、次のように点字表記の仕方に変更した。また、3つの循環小数の後に、あとの(注)を追加した。 循環小数は、循環する部分がわかるように、くり返される並びの最初の数字の前に記号・をつけて最後の数字までを書き、そのあとの数字を省略して、次のように表す。 0.666…=0.・666 0.31818…=0.3・18 1.234234…=1.・234 (注) 墨字では、くり返される並びの数字の最初と最後の数字の上に点をつけて表す。	編集の具体的内容(3)①
57	21	変更	右側の囲みの内容と「100 x = 26.26 となります。このことから、右のように計算して、」の部分をもとめて、次のように変更した。	編集の具体的内容(3)①

(別紙 2)

			$x = 0.262626\cdots$ ① 両辺を 100 倍すると $100x = 26.262626\cdots$ ② ②の両辺から①の両辺をそれぞれ引くと $99x = 26$ $x = \frac{26}{99}$	
58	3	変更	1において、「下線部をなおして」を「()」内に示した部分をなおして」と変更し、下線が引かれた部分は下線を省略し、下線部の内容を文末に()に入れて示した。	編集の具体的内容(3)①
59	5	変更	かななとひびきのノートをそれぞれ、(かななの考え)と(ひびきの考え)とした。	編集の具体的内容(3)①
62	6	変更	例4の素因数分解に関する囲みについて、次のように表した。 $\begin{array}{r} 252 \\ 126 \\ 63 \\ 21 \\ 7 \end{array} \begin{array}{l} 2 \\ 2 \\ 3 \\ 3 \\ 7 \end{array}$ よって、 $252 = 2^2 \times 3^2 \times 7$	編集の具体的内容(3)①
63	8	変更	例6(2)において、式変更の途中の吹き出しを、(根号の中を素因数分解する)と($a^2 \times b$ の形にする)と変更して、式の間にそれぞれ挿入した。	編集の具体的内容(3)①
65	11	追加	図の後に、次のようにルーのセリフを追加した。 ルー「 $\sqrt{5}$ は $\sqrt{(2+3)}$ と同じだね。」	編集の具体的内容(3)①
66	6	削除	例1(1)に関する図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
68	18	削除	例2に関する囲みを削除した。	編集の具体的内容(3)①
70	絵	削除	田植えの様子を表したイラストを削除した。	編集の具体的内容(3)①
72	2	削除	触察ではmm単位の正確な読み取りは困難であるため、ものさしの図とルーのセリフを削除した。	編集の具体的内容(3)①
73	写真	削除 変更	マイクロメータの写真を削除し、ルーのセリフを次のように変更した。 ルー「 $\frac{1}{1000}$ mmの位まで正確に測定できるマイクロメータという機器もあるよ。」	編集の具体的内容(3)①
73	17	変更	近似値の有効数字の示し方についての囲みを、次のように変更した。	編集の具体的内容(3)①

			(メモ) (整数の部分が 1 けたの数) × (10 の累乗) ただし、10 の累乗の指数は、自然数である。	
75	図	変更	A 5 の紙を折り曲げる図を、次のように変更した。 1.  2. 線分 A B が線分 A D 上に重なるように折る。  3. 線分 A E が線分 A D 上に重なるように折る。 	編集の具体的内容(3)②
76	図	変更	A 0 判の長さの比の図を次のように変更した。 (注) 全体を A 0 判とする。 単位はmm 	編集の具体的内容(3)①
76	5	追加	日常生活でよく使用する紙の大きさを知っておくた	編集の具体的内容(3)③

(別紙 2)

			めに, 「…A 2 判を半分にしたものが A 3 判, 」の後に「A 3 判を半分にしたものが A 4 判, 」と文章を追加した。	
77	13	変更	5 の図を削除し, リード文を次のように変更した。 数を次の (1) ~ (4) のように分類しました。あとの 1. ~ 4. の数は, (1) ~ (4) のどこに入るか答えなさい。 (1) 有理数 (2) 整数 (3) 自然数 (4) 無理数	編集の具体的内容 (3) ①
79	絵	削除	黒板やコピー機, コピー機の画面のイラストを削除した。	編集の具体的内容 (3) ①
80	図	削除	数の分類を示した図を削除した。	編集の具体的内容 (3) ①
80	11	変更	本文の右にあるコメントを, 11 行目の後に挿入した。	編集の具体的内容 (3) ①
82	図	削除	花壇を作るイラスト等は削除した。周の長さで長方形の縦, 横の関係は分かりにくいので, ひもを使ったり, 有孔ボードなどを使ったりして長方形を作ってみるとよい。	編集の具体的内容 (3) ①
82	7	変更	83 ページに長方形をかく課題はできないため, 「かいてみましょう。」を「考えてみましょう。」に変更した。	編集の具体的内容 (3) ③
85	12 20	変更	問 2 と問 3 の表について, 紙面に収まるよう, 縦と横をいれかえた。	編集の具体的内容 (3) ②
87	5	変更	「 $x - 4$ か $x - 6$ のどちらかは必ず 0 になる。」を次のような (メモ) とし, (注意!) の前に入れた。 (メモ) $(x - 4)(x - 6) = 0$ のとき, $x - 4$ か $x - 6$ のどちらかは必ず 0 になる。	編集の具体的内容 (3) ①
87	13	削除	Note は墨字のときの注意点なので, 削除した。点字での解答の書き方を解説するとよい。	編集の具体的内容 (3)
93	14	変更	ルーのセリフについて, 「次の式の空らんに入数を入れてみよう。」を「次の式の□に入る数を考えよう。」に変更した。	編集の具体的内容 (3) ③
94	2	削除	右側の囲みの中は本文と同じなので削除した。	編集の具体的内容 (3) ①
94	12	変更	問 5 の「次の空らんをうめて」を「次の□にあてはまる数を考えて, 」に変更した。	編集の具体的内容 (3) ③

(別紙 2)

95	5	変更	解の公式を導くため左右を対比させている 2 つの解き方は、始めに実際の式のものを示し、次に一般式のものを示した。	編集の具体的内容(3)③
96	4 11	削除	解の公式の右側と例 1 の右側の囲みは本文と同じなので削除した。	編集の具体的内容(3)③
100	7	変更	「問題を解く手順」は解答例の前に記述した。墨字では解答例と見比べながら学習することになっているが、点字では併記できないので、先に示し、手順を確認してから解答例を確認してほしい。	編集の具体的内容(3)③
101	2	変更	「右の図のような正方形 A B C D」を「図 6 のような 1 辺 10 cm の正方形 A B C D」に変更した。	編集の具体的内容(3)①
102	図	削除	ルーのセリフの隣の「道を動かす」図は削除した。トライ 1 で示された図が、変化する様子を確認するために教材を作って示してもよい。	編集の具体的内容(3)①
105		変更	レポートの例について、点字で書けるように次のように変更した。 レポートの例 方程式の形と解の個数 7 月 10 日 3 年 1 組 〇〇〇〇 1. テーマを選んだ理由 1 次方程式、連立方程式、2 次方程式の 3 種類の方程式を学んだので、それぞれの方程式の形と解の個数に何か関係があるかもしれないと考えて、まとめてみました。 2. 中学で学んだ方程式の形と解の個数について (1) 1 次方程式 式の形: $ax + b = 0$ (1 次式) $= 0$ 解の個数: 1 個 (2) 2 元 1 次方程式 式の形: $ax + by = c$ 解の個数: 無限にある * 2 つの式を連立させると、解が 1 組に決まる。(連立方程式) (3) 1 元 2 次方程式 式の形: $ax^2 + by + c = 0$ 解の個数: 2 個 (同じ解が重なって 1 個になる場	編集の具体的内容(3)① ③ ノートの日付と組について、原典教科書は伏字となっているが、点字の場合、メの字を伏字として用いた場合と数字ではその後のマス空けが異なるため、仮の日付、組を入れた。

(別紙 2)

			合もある) (疑問) 方程式はほかにもある？ 連立させる式の数をもっと多くなる？ 3. 気づいたこと 1 次方程式の解は 1 個で、2 次方程式の解は 2 個なので、解の個数は、次数によって決まっていると思います。 異なる文字の数は、解の個数ではなく、解くために必要な式の数に関係していると思います。 4. 調べてみたいことと調べ方 これまで学んだもののほかにも方程式があるかということ、そのときの解の個数や解くときに必要な式の数についてさらに調べてみたいと思います。 「調べ方」まずインターネットで調べてから、そのことが正しいかわかるような本を図書館で探す。	
108	1	変更 削除	ジュースのパックの見取り図を削除し、問題文を次のように変更した。 長方形の紙から、直方体の形をしたジュースなどの紙パックを作ることができます。	編集の具体的内容(3)①
109	10 図	変更 削除	問 1 (1)において、「グラフをかきなさい」を「グラフを考えなさい」と変更し、方眼を削除した。 以下、同種の問題は、同様に変更した。	編集の具体的内容(3)② ③
110	図	変更	斜面にそってボールを転がしたときのようすの図を、簡略化した点図で表した。	編集の具体的内容(3)②
111	4	変更	先生のセリフに対応した表を削除し、先生のセリフを次のように変更した。 先生「表 1 から、x の値が 1 から 2 へ 2 倍、1 から 3 へ 3 倍、1 から 4 へ 4 倍になると、y の値はどうなっていますか。」	編集の具体的内容(3)②
111	7	変更	まなとのセリフに対応した表を削除し、まなとのセリフを次のように変更した。 まなと「表 1 から、x の値が 1 から 2 へ 2 倍になるとき、y の値は 2 から 8 へ 4 倍になっている。x の値が	編集の具体的内容(3)②

(別紙 2)

			1 から 3 へ 3 倍になるとき、 y の値は 2 から 18 へ 9 倍になっている。 x の値が 1 から 4 へ 4 倍になるとき、 y の値は 2 から 32 へ 16 倍になっています。 x の値が 5 倍になると、 y の値はどうなるのだろう…。」	
111	14	変更	みかのセリフに対応した表を削除し、みかのセリフを次のように変更した。 みか「表 1 から、 x の値が 2 倍、3 倍、4 倍になると、 y の値は 2^2 倍、 3^2 倍、 4^2 倍になっているんだね。」	編集の具体的内容(3)②
112	4	変更	ひびきのセリフに対応した表を削除し、ひびきのセリフを次のように変更した。 ひびき「表 2 から、 x^2 の値が 1 から 4 へ 4 倍になるとき、 y の値も 2 から 8 へ 4 倍になっている。 x^2 の値が 1 から 9 へ 9 倍になるとき、 y の値も 2 から 18 へ 9 倍になっているね。」	編集の具体的内容(3)②
112	8	変更	かんなのセリフに対応した表を削除し、かんなのセリフを次のように変更した。 かんな「表 2 から、 x^2 の値が 1 になるとき、2 倍にすると y の値の 2 になっている。 x^2 の値が 4 になるとき、2 倍にすると y の値の 8 になっている。」	編集の具体的内容(3)②
113	図	削除	例 1、問 2 の図について、本文で理解できるため削除した。	編集の具体的内容(3)②
114	図	変更	方眼の大きさを考慮し、 x を 1 刻み、 y を 5 刻みの方眼に変更した。	編集の具体的内容(3)②
115	図	変更	方眼の大きさを考慮し、 x を 1 刻み、 y を 5 刻みの方眼に変更した。	編集の具体的内容(3)②
116	4	変更	「次ページの上の図にかきいれてみよう。」を「○ページの図 5 に印をつけてみよう。」に変更した。 以下、同種の問題は、同様に変更した。	編集の具体的内容(3)③
117	図	変更	グラフ用紙について、方眼の大きさを考慮し、 $-4 \leq x \leq 4$ 、 $-1 \leq y \leq 10$ の範囲とした。また 1 目盛りを 1 とした。	編集の具体的内容(3)② 方眼の大きさについては、原則 1.5 cm 程度となるように考慮している。
117	図	変更	$-1 \leq x \leq 1$ の方眼について、方眼の大きさを考慮し、 $-1 \leq x \leq 1$ 、 $-0.2 \leq y \leq 1$ の範囲とした。また 1 目盛りを 0.2 とした。	編集の具体的内容(3)②
118	8	変更	トライ 1 の文章を次のように変更した。	編集の具体的内容(3)③

(別紙 2)

			関数 $y = 2x^2$ のグラフを予想し，図 8 の $y = x^2$ のグラフをもとに考えてみましょう。																	
120	図	変更	$y = x^2$ と $y = 2x^2$ のグラフの方眼を削除した。 触ってグラフを認識しやすいように，これ以降，大部分のグラフの方眼を省略した。	編集の具体的内容(3)②																
120	図	変更	(Q)のグラフは 5 本が同時にかかれており，そのままでは触って認識できないため，2 つに分けた。1 つ目に①と②と $y = x^2$ のグラフ，二つ目に③と④と $y =$ をかいた。	編集の具体的内容(3)②																
121	図	変更	グラフの方眼を省略した。	編集の具体的内容(3)②																
122	図	変更	グラフ用紙について，方眼の大きさを考慮し， $-6 \leq x \leq 6$ ， $-12 \leq y \leq 12$ の範囲とした。また 1 目盛りを 2 とした。	編集の具体的内容(3)②																
123	図	変更	まとめの図のグラフの方眼を省略し，数値の読み取りが必要な部分にだけ裏線を入れた。	編集の具体的内容(3)②																
124	図	変更	物体を投げている絵について，物体の動きだけを点図にした。	編集の具体的内容(3)② 物を投げたときの物体の動きについて知る経験はあまりないので，冷水機の水の動きを確認するなど，学習の機会があるとよい。																
124	写真 図	削除 変更	パラボラアンテナの写真を削除し，パラボラアンテナの仕組みの図のみ点図化した。その際，電波が水平となるように角度を調整した。	編集の具体的内容(3)②																
124	写真	削除	噴水と花火の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)②																
126	図	変更	トライ 1・例 1 のグラフの方眼を省略した。	編集の具体的内容(3)②																
127	表	変更	$y = 2x$ の変化の様子を表した表について，増加量を表す矢印を省略し，次のように表した。 表 10 <table><tr><td>x</td><td>...</td><td>-2</td><td>-1</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>...</td></tr><tr><td>2x</td><td>...</td><td>-4</td><td>-2</td><td>0</td><td>2</td><td>4</td><td>...</td></tr></table> 表 10 から，x が -2 から -1 に 1 増加するとき， 2x は -4 から -2 になり，増加量は 2 x が -1 から 0 に 1 増加するとき， 2x は -2 から 0 になり，増加量は 2 x が 0 から 1 に 1 増加するとき，	x	...	-2	-1	0	1	2	...	2x	...	-4	-2	0	2	4	...	編集の具体的内容(3)②
x	...	-2	-1	0	1	2	...													
2x	...	-4	-2	0	2	4	...													

(別紙 2)

			2 x は 0 から 2 になり，増加量は 2 x が 1 か 2 に 1 増加するとき， 2 x は 2 から 4 になり，増加量は 2																	
127	表	変更	ひびきのセリフに対応する表について，増加量を示した矢印を省略し，次のように表した。 表 11 <table><tr><td>x</td><td>...</td><td>- 2</td><td>- 1</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>...</td></tr><tr><td>2 x ²</td><td>...</td><td>8</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td><td>8</td><td>...</td></tr></table> 表 11 から，x が - 2 から - 1 に 1 増加するとき， 2 x ² は 8 から 2 になり，増加量は - 6 x が - 1 から 0 に 1 増加するとき， 2 x ² は 2 から 0 になり，増加量は - 2 x が 0 から 1 に 1 増加するとき， 2 x ² は 0 から 2 になり，増加量は 2 x が 1 か 2 に 1 増加するとき， 2 x ² は 2 から 8 になり，増加量は 6	x	...	- 2	- 1	0	1	2	...	2 x ²	...	8	2	0	2	8	...	編集の具体的内容 (3) ②
x	...	- 2	- 1	0	1	2	...													
2 x ²	...	8	2	0	2	8	...													
127	図	変更	y = 2 x ² のグラフの方眼を省略した。	編集の具体的内容 (3) ②																
128	図	変更	2 つの y = x ² のグラフについて，いずれも方眼を省略した。 また，2 つ目のグラフにおいて，放物線と直線が重なってかかっているが，点図でどちらも入れると触って理解できかねるため，直線を省略した。	編集の具体的内容 (3) ②																
128	図	削除	問 5 の図を省略した。	編集の具体的内容 (3) ②																
129	図	削除	例 3 の坂道をボールが転がる様子の図を省略した。	編集の具体的内容 (3) ②																
130	表	変更	関数 y = a x ² と関数 y = a x + b の性質をまとめた表を，次のように変更した。 表 <table><tr><td colspan="2">グラフの形 (〇〇ページ図 27)</td></tr><tr><td>y = a x + b</td><td>直線</td></tr><tr><td>y = a x ²</td><td>放物線</td></tr></table> y の値の変化 a > 0 のとき (〇〇ページ図 28) y = a x + b つねに増加 y = a x ² x < 0 で減少， x > 0 で増加 a < 0 のとき (〇〇ページ図 24)	グラフの形 (〇〇ページ図 27)		y = a x + b	直線	y = a x ²	放物線	編集の具体的内容 (3) ② 図については，原典教科書の図を点図で示した。										
グラフの形 (〇〇ページ図 27)																				
y = a x + b	直線																			
y = a x ²	放物線																			

(別紙 2)

			$y = a x + b$ つねに減少 $y = a x^2$ $x < 0$ で増加, $x > 0$ で減少 変化の割合 $y = a x + b$ 一定で a に等しい $y = a x^2$ 一定ではない 	
131	図	削除	3について, グラフをかいて考えるよりも, 値を計算してグラフをイメージしながら考えることになるため, グラフ用紙を削除した。	編集の具体的内容(3)②
132	図	変更	制動距離の説明の図を点図で示した。	編集の具体的内容(3)②
133	図	変更	みかのセリフの「グラフをかいてみよう」を「グラフを考えてみよう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
133	図	変更	方眼の大きさを考慮し, x を 20 刻み, y を 10 刻みの方眼に変更した。	編集の具体的内容(3)②
134	絵	削除	問 2 の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
134	絵	削除	問 3 の列車と自転車の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
134	17	変更	問 3 (3)において, 「そのグラフを上の方図にかき入れなさい。」を「そのグラフがどのようなになるか考えなさい。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
135	4	変更	問 4 において, 「△DEF を矢印の方向に」を「△DEF を右の方向に」に変更し, 図中の矢印を省略した。	編集の具体的内容(3)①
135	12	変更 削除	問 4 (3)において, 「 x と y の関係をグラフに表しなさい。」を「 x と y の関係をグラフに表わすと, どのようなになるか考えなさい。」に変更し, グラフ用紙を削除した。	編集の具体的内容(3)③
137	写真	削除	トライ 1 の宅配便の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
137	図	修正	グラフの方眼を, x 軸については 5 刻み, y 軸については 500 刻みとした。	編集の具体的内容(3)②
138	写真 図	削除	6 つの例に関する写真や図を削除し, 文章のみを示した。	編集の具体的内容(3)①
139	6 ~ 7	変更	問 1 について, 「119 ページの図にかき入れなさい。」を「○○ページの図 7 で考えなさい。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
139	16	削除 変更	右側の囲みを次のように変更した。 (メモ) 連立方程式 $y = x^2 \cdots \textcircled{1}$ $y = 2x + 8 \cdots \textcircled{2}$	編集の具体的内容(3)①

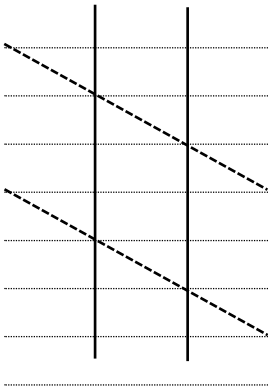
(別紙 2)

			① を②に代入すると、 $x^2 = 2x + 8$	
140	20～ 21	変更	4について、「 x と y の関係をグラフに表しなさい。」を「 x と y の関係をグラフについて考えなさい。」に変更した。また、グラフの方眼を、 x 軸は1刻み、 y 軸については500刻みとした。	編集の具体的内容(3)③
142	写真 絵	削除	タイヤの写真とタイヤ交換の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
143	図	変更	(例)の図の方眼を削除し、長方形の縦と横の長さをかき入れた。また、文章を次のように変更した。 次の図1にア.～キ.の長方形があります。ア.はエ.の拡大図です。	編集の具体的内容(3)①
143	図	削除	ふりかえりの内容であることから、三角形の合同条件については文章のみとし、図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
144	絵	削除	バトンパスの絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
144	4	変更	ひびきのセリフを次のように変更した。 ひびき「ぼくの選んだ写真は小さくて、バトンパスのようすが、うまく伝わらないね。」	編集の具体的内容(3)①
145	3	変更	「四角形IJKLをかきなさい。」を「四角形IJKLを考えなさい。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
145	図	変更	問1の図について、方眼の大きさを考慮し、方眼の数を 10×14 とした。また、四角形ABCDのBCの長さを2マス分、CDの長さを1マス分、BCの中点から2マス上の位置にAになるように変更した。	編集の具体的内容(3)②
147	図	変更	相似な図形に関する図について、方眼の大きさを考慮し、方眼の数を 10×14 とした。また、 $\triangle ABC$ のBCの長さを3マス分、BCを底辺としたときの高さを2マス分、 $\triangle DEF$ と $\triangle GHI$ の、EFとHIの長さを6マス分、EFとHIをそれぞれ底辺としたときの高さを4マス分に変更した。	編集の具体的内容(3)②
147	図	変更	問2の図について、方眼の大きさを考慮し、方眼の数を 10×14 とした。また、 $\triangle ABC$ のBCの長さを3マス分、BCを底辺としたときの高さを2マス分、 $\triangle DEF$ と $\triangle GHI$ の、EFとGIの長さを6マス分、EFとGIをそれぞれ底辺としたときの高さを4マス分に変更した。	編集の具体的内容(3)②
150	図	変更	トライ2の図について、方眼の大きさを考慮し、方眼の数を 7×14 とした。また、点Aは、点Oから右に3マス、上に1マスの位置、点Bは、点Oから右に2マス、下に1マスの位置、点Cは、点Oから右に4マ	編集の具体的内容(3)②

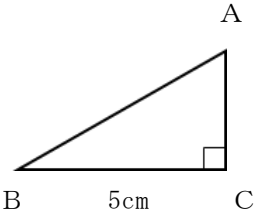
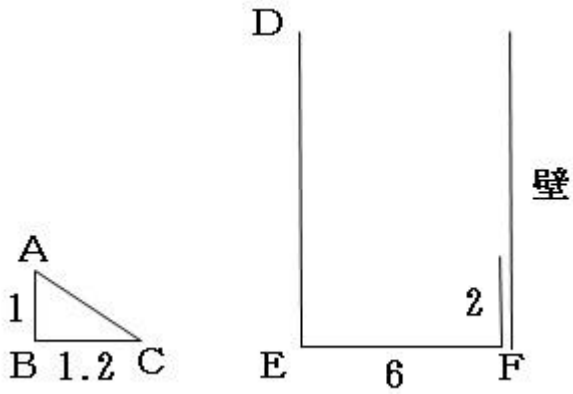
(別紙 2)

			スの位置とした。	
150	14 ～15	変更	問 7 の文章を、次のように変更した。 次の図 16 に、点 O と $\triangle ABC$ に対して、 $OA' = 2OA$, $OB' = 2OB$, $OC' = 2OC$ と なる点 A' , B' , C' をとりました。 $\triangle A'B'C'$ がどのような図形になるか確かめま しょう。	編集の具体的内容(3)③
150	図	変更	問 7 の図について、方眼の大きさを考慮し、方眼の 数を 6×14 とした。点 A は、点 O から右に 3 マス、上 に 1 マスの位置、点 B は、点 O から右に 2 マス、下に 1 マスの位置、点 C は、点 O から右に 4 マスの位置と し、点 A' , B' , C' も図に入れた。	編集の具体的内容(3)②
151	図	変更	問 8 の図について、方眼の大きさを考慮し、方眼の 数を 10×14 とした。	編集の具体的内容(3)②
151	図	変更	みかとまなどのセリフに対応した図について、方眼 を省略した。	編集の具体的内容(3)②
153	14	変更	ルーのセリフの三角形の合同条件を削除し、次のよ うに合同条件が書かれているページ数を入れることと した。なお、次の p ○○ には、原典教科書 p143 の「ふ りかえり 5 章相似の学習の前に 2 三角形の合同条 件」がかかれたページ数が入る。 ルー「三角形の合同条件比べてみよう。(p ○○)」	編集の具体的内容(3)①
155	図	削除	問 4 の図について、例 2 の図を利用できるため削除 した。	編集の具体的内容(3)①
156	図	変更	トライ 1 の図について、方眼の大きさを考慮し、方 眼の数を 10×10 とした。	編集の具体的内容(3)②
156	図	追加	かんなのセリフに対して、相似比が $1 : 2$ の三角形 を確認しながら考えられるよう、図を追加した。	編集の具体的内容(3)①
157	図	削除	問 1 の図について、文章のみでイメージできるため 削除した。	編集の具体的内容(3)①
158	図	削除	問 3 の図について、文章のみでイメージできるため 削除した。	編集の具体的内容(3)①
159	図	変更	トライ 1 について、2 つの四面体の図を「上から見 た図」で表した。	編集の具体的内容(3)②
160	図	変更	2 つの直方体の図を「上から見た図」と「正面から 見た図」で表した。	編集の具体的内容(3)②
162	図	削除	まなどのセリフの右にある図について、トライ 1 の 図を利用できるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
163	図	変更	定理の図を 1 つにまとめて表し、平行の記号や辺の 比を示した記号を省略した。	編集の具体的内容(3)②

(別紙 2)

165	図	削除	問 3 および問 4 の図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
169	図	変更	解答例の枠外にある図を削除し、解答例の枠内の図のみとした。 $\triangle ABD$ に着目する場合には、 $\triangle ABD$ だけを指でたどりながら図を確認するとよい。	編集の具体的内容(3)①
172	図	削除	定理の図について、トライ 2 や問 3 の図で確認するため削除した。	編集の具体的内容(3)①
174	7	変更	「説明しよう」について、ノートの絵をあとのように 2 つの図で表し、文章を次のように変更した。 次の図 77 1. のような罫線の入ったノートがあります。この罫線の長さを 3 等分して表を作ろうと思います。 みかさんは、〇〇ページ図 77 2. のような直線をひいて、罫線を 3 等分しました。 みかさんの方法で、罫線の長さを 3 等分できる理由を説明してみましょう。 図 77 1.  2. 	編集の具体的内容(3)① ③
175	3 写真	変更 削除	まなどのセリフを次のように変更し、地図を簡略化して点図で示した。なお、関西国際空港連絡橋の写真を削除した。 まなど「関西国際空港について調べると、次の図 78 のような縮尺 200000 分の 1 の地図が出てきたよ。地図の AB 間の長さは 1.9cm だね。」	編集の具体的内容(3)② ③ 触って正確に長さを測定することは負担が大き く、この課題のように 1 mm の差を読み取ることは不可能なので、数値を明記した。
176	図	変更	例 1 の図について、簡略化して点図で示した。	編集の具体的内容(3)②
176	12	変更	問 2 (1) (2) をまとめて、次のような問題に変更した。	編集の具体的内容(3)② ③

(別紙 2)

			辺 $A'B'$ の長さを測ると 2.8 cm でした。例 1 の 2 地点 A, B 間の距離を求めなさい。	長さを正確に測定することは不可能であり, 課題として適切でないと判断した。
176	図	変更	例 2 の図について, 木や影などの絵を省略し, $\triangle ABC$ と $\triangle EDF$ を示した。	編集の具体的内容 (3) ①
177	22 図	変更 追加	ルーのセリフを次のように変更し, 図を追加した。 ルー「$BC = 5\text{ cm}$ として, $\triangle ABC$ の縮図をかいてみると, 図 83 のようになったよ。」 図 82 	編集の具体的内容 (3) ② ③
178	写真 図	削除	例 3 のピザの写真および S サイズと M サイズの円の図を削除した。	編集の具体的内容 (3) ①
178	絵	削除	問 5 のピザ屋のイラストを削除した。	編集の具体的内容 (3) ①
179	図	変更	トライ 2 において, 円錐の容器に水を入れた図を, 「前から見た図」で表した。	編集の具体的内容 (3) ②
180	図	変更	(Q) について, 三角形につまようじを刺した図を「中線の交点につまようじを刺したコマを上から見た図」で表した。	編集の具体的内容 (3) ②
183	図	変更	4 において, 図を次のように示した。	編集の具体的内容 (3) ①
				
184	16 写真	変更 削除	ルーのセリフを次のように変更し, 写真を削除した。	編集の具体的内容 (3) ①

(別紙 2)

			ルー「大鍋料理を振る舞うイベントを見つけたよ。三重県伊賀市のけんずい祭りや山形県の日本一の芋煮会フェスティバルなどがあるよ。」	
185	図	変更	図 1 のおうぎ形は初出であるため、触って分かりやすいよう弧 A B が 6 時の位置になるように変更した。	編集の具体的内容(3)②
185	10	変更 追加	問 1 の「図に次の図形をかき入れなさい。」を「図 1 において、次の 1. から 3. の図形の部分を示しましょう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
186	2	削除 追加	2 つの写真を削除し、次の文章を追加した。 真岡鐵道 S L キューロク館（栃木県）は建物の正面には、S L の前面の一部と同じ円形があります。 Spring-8（兵庫県佐用郡）は大型の放射光を用いた実験施設で建物が直径 500m の円形をしている。	編集の具体的内容(3)①
187	図	削除	まなとのセリフの下の図について、線が多すぎて触って読み取ることが難しいため削除した。	編集の具体的内容(3)①
188	10	変更	例 1 の右側の囲みについて、次のように変更し、図の中の 1 時あたりの点を C, 11 時あたりの点を D とした。 (メモ) 次の図 7 の円 O において、中心角 $\angle AOB$ が 180° 以上の場合の円周角は $\angle ACB$ と $\angle ADB$	編集の具体的内容(3)①
189	図	変更	トライ 2 の図について、注目する弧 A B の部分の点種を変えた。	編集の具体的内容(3)②
190	図	変更	証明の右および下の図について、図中の $\bigcirc$ を a, $\times$ を b に変えた。	編集の具体的内容(3)②
194	図	削除	まなととみかのセリフに対応した図について、セリフとして文章で説明されているため削除した。	編集の具体的内容(3)①
194	図	削除	点 P の位置による $\angle APB$ の大きさの違いを示した図は複数の情報を重ねた図のため分かりにくい。原典教科書 p195 に分けた図があるため、削除した。	編集の具体的内容(3)①
196	図	削除	まとめの図について原典教科書 p195 の図と重複することから削除し、p195 の図を参照するようにした。	編集の具体的内容(3)①
198	図	削除	問 1 の図について、問 1 の直前の図と同じであるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
199	図	変更	接線の作図の手順を示す図は手順①, ②については手順に合わせた図を 1 つずつ示し、手順③と④についてはまとめて 1 つの図で示した。	編集の具体的内容(3)①
201	9	変更	みかのセリフを次のように変更し、図は塗りつぶし	編集の具体的内容(3)①

(別紙 2)

	図	削除	を省略して 1 つだけとした。 みか「 $\triangle ADP$ と $\triangle CBP$ の 2 つの三角形を考えたよ。」	
205	図 写真	変更 削除	サッカー場の図は芝生の模様を削除し、サッカーゴール、白線、4 地点のみを点図化した。また、鹿島サッカースタジアムの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
206	10 図	変更	定理の図の青い角を a , 赤い角を b とし、文章を次のように変更した。 1. 対角の和は 180° である。 ($a + b = 180^\circ$)	編集の具体的内容(3)②
207	図	削除	円に内接する四角形の 1 辺が接線に近づいていく様子を表した図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
209	図	削除	3 の直方体について、図を削除し、 「直方体 $ABCD-EFGH$ において」とした。直線や平面の位置関係を確認する際には、直方体の模型を用いるとよい。 また、問 2 の冒頭も「直方体 $ABCD-EFGH$ で」とした。	編集の具体的内容(3)②
213	図	削除	証明を考えるための図について、問 1 の図とほぼ同じであるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
215	1 図	変更	三角形を教科書にかき込む課題はできないため、三角形の完成図を載せ、(Q)の文章を次のように変更した。 次の図 13 のような $\triangle ABC$ をかいてみました。 $AB = 5\text{ cm}$ $BC = 4\text{ cm}$ $CA = 3\text{ cm}$ $\triangle ABC$ はどのような三角形になるでしょうか。」	編集の具体的内容(3)③
217	絵	削除	「やってみよう」の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
218	図	変更 削除	角材を断面の面積を調べる図について、触って分かりやすいように丸太を円に変えた。曲尺は二重線で表した。なお、先生のセリフにおける図を削除した。 また、かんなの図は最後のみとした。	編集の具体的内容(3)②
220	図	削除	(Q)の図は本文からイメージできること、次の直角三角形で確認できることから削除した。生徒の状況に応じて、自作して提示するとよい。	編集の具体的内容(3)①
220	5	変更	右側の囲みについて、図の前にそれぞれ次のように説明を追加した。	編集の具体的内容(3)③ 点字は上から読むこと

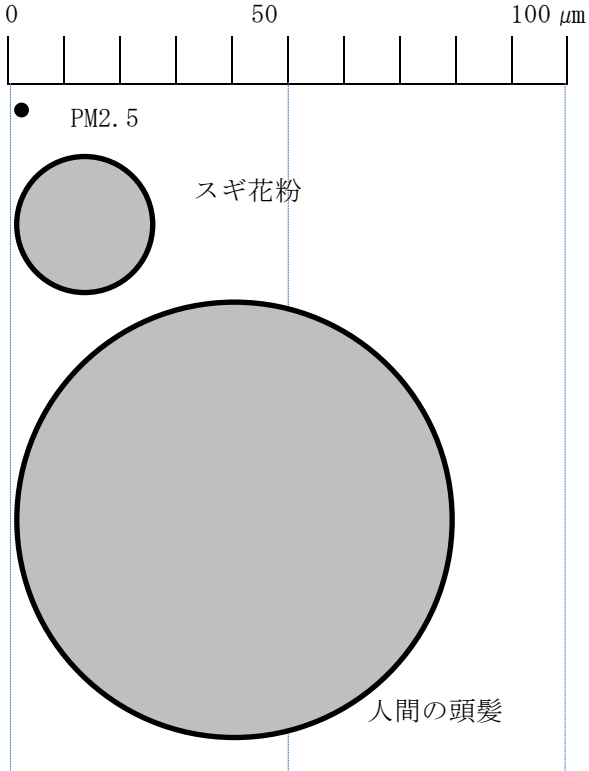
(別紙 2)

			1. 直角二等辺三角形 1 : 1 : $\sqrt{2}$ 2. 3つの角が 30° , 60° , 90° である直角三角形 1 : 2 : $\sqrt{3}$	や、図の後の文字情報は読み落とすことがあるため、説明は図よりも前に入れている。															
225	図	変更 削除	トライ1の直方体の見取り図について、上から見た図と正面から見た図で表した。 以下、見取り図は原則、上から見た図と正面から見た図で表した。ただし、立体を平面図で表す際に、上から見た図と正面から見た図のほかにより手段がないためこのように示しているが、これらで状況を把握することは難しい。指導の際には、それぞれの立体模型を用いることが望ましい。	編集の具体的内容(3)②															
226	図	変更	(Q)の図について、底面の図と面OACで切断した図に変更した。底面の図は面OACで切断した図の向きに合わせて作成した。 指導の際には、正四角錐の模型を用いることが望ましい。	編集の具体的内容(3)②															
227	図	削除	例1の問題文および解答例における見取り図を削除し、解答例の右にある底面ABCDと△OACの図のみとした。	編集の具体的内容(3)①															
227	図	削除	問3の立体について、文章で説明されているため、図を削除した。	編集の具体的内容(3)①															
231	写真	削除	富士山の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①															
231	16	変更	「 $\sqrt{\quad}$ キーがついている計算機」を「平方根の値を計算できる計算機」に変更した。	編集の具体的内容(3)⑤ 音声電卓やパソコン、点字情報端末など、生徒が使いやすいものを使うとよい。															
234	写真	削除	なにわ淀川花火大会の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①															
234	絵	変更	花火の打ち上がる高さや玉の大きさを表した図を、次の表に変更した。 高さと半径の単位はm 1尺玉は10号玉のこと。 <table><thead><tr><th>名称</th><th>高さ</th><th>半径</th></tr></thead><tbody><tr><td>1尺玉</td><td>330</td><td>150</td></tr><tr><td>7号玉</td><td>250</td><td>120</td></tr><tr><td>5号玉</td><td>190</td><td>85</td></tr><tr><td>通天閣</td><td>108</td><td>――</td></tr></tbody></table>	名称	高さ	半径	1尺玉	330	150	7号玉	250	120	5号玉	190	85	通天閣	108	――	編集の具体的内容(3)①
名称	高さ	半径																	
1尺玉	330	150																	
7号玉	250	120																	
5号玉	190	85																	
通天閣	108	――																	

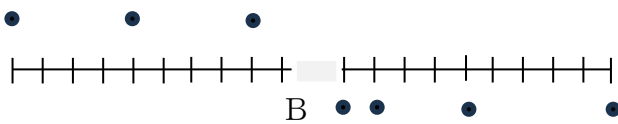
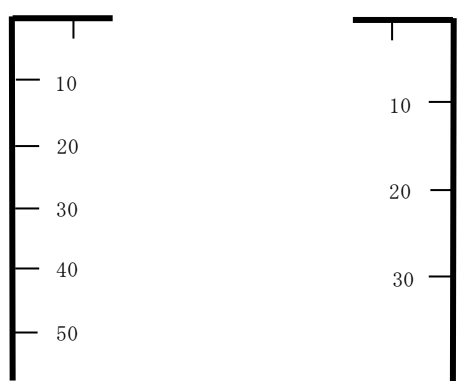
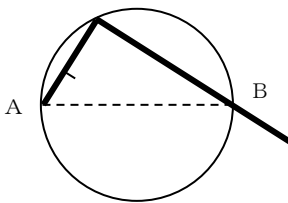
(別紙 2)

236～ 237	絵	削除	さまざまな調査を表した絵を削除し、言葉のみとした。	編集の具体的内容(3)①
238	絵	削除	投票所の出口を表した絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
240	写真	削除	50m走のスタートラインの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
241	写真	削除	乱数さいの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
242	20 ～21 絵	変更 削除	「下の写真は、コンピュータを利用して、1 から 10 万までの整数から 50 個の整数を無作為に抽出したものです。」を次のように変更し、表計算ソフトの画面を表した絵を削除した。 例えば、1 から 10 万までの整数から 50 個の整数を無作為に抽出するときには、表計算ソフトの 50 個のセルに、 =RANDBETWEEN(1, 100000) という関数を入力するという方法があります。	編集の具体的内容(3)③
243	表	変更	乱数表については、乱数表の目的と紙面の都合を考慮し、1 行目から 20 行目までのみを示した。また、巻末に掲載した。	編集の具体的内容(3)②
245	図	変更	箱ひげ図は、3 つの違いが捉えられればよいとため、7.1, 7.4, 7.7, 8.0, 8.3 のみ数字とメモリ線を残し、それ以外の数値については上下の枠に点を記すのみとした。	編集の具体的内容(3)①
246	写真	削除	箱に入ったビーズとはかりの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
246	16 22	変更	みかの考えの中の「色のビーズ」について、点字で学ぶ生徒も確認できるよう、「シールを貼ったビーズ」に変更した。	編集の具体的内容(3)①
247	写真 絵	削除	白龍湖の写真および池に鯉が泳いでいる絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
248	写真	削除	英和辞典の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
249	2 7 表	変更 削除	問 2 について、「次の空らんをうめ」を「次の□に数を入れ」に変更した。 また、無作為に選んだページの見出し語を書き残すための表を削除し、〔2〕の「見出し語の数は右の表のようになる。」を「見出し語の数をページごとに数える。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
249	13	変更	ひびきとかんなのセリフについて、盲学校の生徒数を考慮し、次のように変更した。 ひびき「近くの席の人とグループを作って、結果の平均値を求めよう。」 かな「となりのグループも合わせて平均値を求めて	編集の具体的内容(3)③

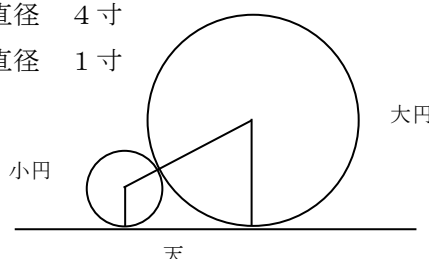
(別紙2)

				みよう。」	
250	写真	削除		新聞記事の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
252	絵	削除		金魚のワッペン絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
254～ 255	写真	削除		写真をすべて削除した。	編集の具体的内容(3)①
254	図	変更		シェルピンスキーの三角形の図は、触って認識できることを考慮し、左から2つだけを点図にした。	編集の具体的内容(3)①
254	図	変更		シェルピンスキーの四面体については、図を削除し、次の文章を、本文中の「『シェルピンスキーの四面体』を示されたのです。」の後に追加した。 (シェルピンスキーの四面体とは、大きな正四面体の各辺の中点を結んでできる小さな正四面体4つを残し、中のものを取り除く作業をくり返してつくられる立体です。大きな正四面体と小さな正四面体の相似比は2:1です。)	編集の具体的内容(3)①
254	16	変更		「正面からは穴ほぼ見えません。」を「ある方向からは穴がほぼ見えません。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
256	写真	変更		PM2.5, スギ花粉, 人間の頭髪の拡大写真を次のような図で表した。 	編集の具体的内容(3)①
257	写真	削除		タイトルの右にある、バトンパスの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
258	図	変更		AさんとBさんの走る様子を示した図について、次	編集の具体的内容(3)①

(別紙 2)

			のように変更した。 図1 AさんとBさんの1秒ごとの位置 Aさんー一定の速さで走っている Bさんー加速しながら走っている A  B	
258	写真	削除	皆既日食および金環日食の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
258	図	変更	日食が見られるしくみを示した図について、皆既日食が見られる地点を表す図と、金環日食が見られる地点を表す図の2つに分けて点図で示した。なお、それぞれの該当地点は、地球の図において二重線で表した。	編集の具体的内容(3)①
259	図	変更	必要な部分を明確にするため、地球はOのみを残し、地球表面を表す線やTO、CC'を延長した線は省略した。	編集の具体的内容(3)①
260	写真	削除	タイトルの右にある、曲尺を使っている様子を示した写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
260	写真	変更	曲尺の写真を、次のような点図で示した。 表目(表) 角目(裏) 	編集の具体的内容(3)①
260	絵	変更	丸太の断面に曲尺をあてた絵を、次のような点図で示した。 	編集の具体的内容(3)①
260	図	追加	「① 等間隔に線をひく」様子を示した図について、それぞれの図に、次の文章を追加した。	編集の具体的内容(3)①

(別紙 2)

				(1) 長方形の板の1辺に曲尺の直角部分をあて、曲尺に沿って等間隔に印をつける。 (2) 曲尺の短い部分を板の左の辺に、曲尺の長い部分を(1)でつけた印を通るようにあてて、線をひく。	
261	写真	削除		ピタゴラスの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
262	写真	変更		出羽三山神社の算額の写真を削除し、次の文章で示した。 (山形県鶴岡市の出羽三山神社には、幅が4 mを超える大型の算額が奉納されています。1823年に奉納されたもので、11問かかれています。)	編集の具体的内容(3)①
263	写真	変更		検地の問題の挿絵および油はかりの問題の挿絵を削除し、次の文章で示した。 (「文政新版萬徳塵劫記商売鑑全」には、検地の問題や油はかりの問題が挿絵とともに掲載されています。)	編集の具体的内容(3)①
263	4 ～5 写真	変更 削除		「右の写真は、『最上流算法天生法指南一』に掲載されている問題です。」を、次のように変更し、写真を削除した。 図13は、『最上流算法天生法指南一』に掲載されている問題の図です。(この問題は、大円の直径が4寸、小円の直径が1寸であるとき、天の長さを問うています。) 図13 大円の直径 4寸 小円の直径 1寸  天	編集の具体的内容(3)①
264	写真	削除		投票の様子を示した写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
279	図	削除		7において、鉄球が斜面を転がる図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
279	27	変更		9において、「グラフに表しなさい。」を「グラフに表すとどうなるか考えましょう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
280	25	変更		10において、「xとyの関係をグラフに表しなさい。」を「xとyの関係をグラフに表すと、どうなるか考えなさい。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③

(別紙 2)

281	図	削除	例題 2 において、問題の図を削除し、解答例の図のみを点図化した。問題文から図をイメージする練習もしてもらいたい。	編集の具体的内容(3)②
283	図	削除	例題 4 において、問題の図を削除し、解答例の図のみを点図化した。	編集の具体的内容(3)②
283	図	削除	13 において、問題文から図をイメージして考えるよう、問題の図を削除した。	編集の具体的内容(3)②
284	13	変更	2 において、「 $\triangle A'B'C'$ をかきなさい。」を「 $\triangle A'B'C'$ を考えなさい。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
285	図	変更	6 の図について、「上から見た図」と「正面から見た図」で示した。	編集の具体的内容(3)②
286	図	変更	8 の図について、「上から見た図」と「正面から見た図」で示した。	編集の具体的内容(3)②
293	図	削除	例題 2 の図について、解答例の図で確認できるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
295	図	削除 変更	3 の図を削除し、次のように文章化した。 3 次の $\triangle ABC$ の高さ AD を求めなさい。 1. 一辺が 8 cm の正三角形 ABC 2. $AB = AC = 9\text{ cm}$, $BC = 10\text{ cm}$ の二等辺三角形	編集の具体的内容(3)③
296	図	削除	9 の図について、問題文に立体の説明がかかっているため削除した。	編集の具体的内容(3)①
296	16 図	変更	10 の問題文について、「右の図のような直方体があります。」を「 $AB = 5\text{ cm}$, $AD = 2\text{ cm}$, $AE = 4\text{ cm}$ である直方体 $ABCD-EFGH$ があります。」に変更し、見取り図は、直方体を示す図ではなく、 AP , PQ , QE を示す図に変更した。	編集の具体的内容(3)②
297	図	削除	例題 1 の図について、解答例の図で確認できるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
297	図 23	削除 追加	11 の図について、例題 1 の図と構造は同じであるため削除し、問題文を次のように変更した。 直線 l は、2 点 A , B でそれぞれ円 O , O' に接しています。ただし、円 O , O' は直線 l に対して、同じ側にあります。円 O , O' の半径がそれぞれ…	編集の具体的内容(3)①
298	図	変更	例題 2 の図の直方体の見取り図について、 $\triangle AFG$ で切断した面に変更した。	編集の具体的内容(3)②
298	22 図	変更	12 の直方体の見取り図について、 $\triangle AFG$ で切断した面の図に変更した。それに伴って、問題文を次のように変更した。	編集の具体的内容(3)②

(別紙 2)

			$AB = 8\text{ cm}$, $BC = 10\text{ cm}$, $AE = 6\text{ cm}$ の直方体 $ABCD-EFGH$ があります。	
302～ 309		変更	「中学3年間のまとめ」において、1年・2年・3年の順で、各学年の内容をすべて書いたあとに次の学年の内容を掲載した。	編集の具体的内容(3)③
302		削除	式の展開と因数分解において、展開と因数分解の図式について、言葉での説明で十分であるため、削除した。	編集の具体的内容(3)①
304		削除	比例式の性質に関する図式について、言葉での説明で十分であるため、削除した。	編集の具体的内容(3)①
304		変更	連立方程式の解き方の加減法について、「①の両辺を2倍して②をひくと」から筆算形式の表記までを省略し、 ① $\times 2 - ②$ $x = 2$ とした。	編集の具体的内容(3)①
305	図	変更 削除	比例のグラフと反比例のグラフに関する図を削除し、次の文章に変更した。 比例のグラフ 1. $a > 0$ のとき x が増加すると、 y も増加する。 2. $a < 0$ のとき x が増加すると、 y は減少する。 反比例のグラフ 1. $a > 0$ のとき グラフは右上と左下にある。それぞれについて、 x が増加すると y は減少する。 2. $a < 0$ のとき グラフは左上と右下にある。それぞれについて、 x が増加すると y も増加する。	編集の具体的内容(3)①
305	図	変更	1次関数のグラフに関する図を削除し、次の文章に変更した。 1. $a > 0$ のとき 点 $(0, b)$ を通り、 x が1だけ増加すると、 y が a だけ増加する右上がりの直線。 2. $a < 0$ のとき 点 $(0, b)$ を通り、 x が1だけ増加すると、 y が a だけ減少する右下がりの直線。	編集の具体的内容(3)①
305	図	削除	連立方程式とグラフの図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
306	図	削除 変更	図は基本的に言葉での説明で十分であるため、原則、削除した。	編集の具体的内容(3)①

(別紙2)

			「図形の移動」については、図で表されている内容を、次の文章に変更した。 1. 平行移動 図形を、一定の方向に一定の距離だけずらすこと。 2. 回転移動 図形を、ある点Oを中心にして一定の角度だけ回すこと。 3. 対称移動 図形を、ある直線lを折り目として折り返すこと。	
307	図	削除 変更	図は基本的に言葉での説明で十分であるため、削除した。 「角の二等分線の作図」のみ、図で表されている内容を、次の文章に変更した。 ∠AOBの二等分線の作図 (1) Oを中心とする適当な半径の円をかき、半直線OA、OBとの交点をC、Dとする。 (2) 2点C、Dをそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、2つの円の交点の1つをEとする。 (3) 半直線OEをひく。	編集の具体的内容(3)①
308	図	削除	「角錐の展開図」「円錐の展開図」以外の図は、言葉での説明で十分であるため、削除した。	編集の具体的内容(3)①
309	図	変更	「度数分布表、ヒストグラム、度数折れ線」について、表や図で表されている内容を、次の文章に変更した。 各階級にその度数を対応させ、データの分布を示した表を「度数分布表」という。 度数分布表を柱状グラフで表したものを「ヒストグラム」という。 ヒストグラムの各長方形の上の辺の中点を結んでできる折れ線グラフを「度数折れ線」という。	編集の具体的内容(3)①
309	図	削除	「四分位数、四分位範囲」に関する図について、言葉での説明で十分であるため、削除した。	編集の具体的内容(3)①
309	図	変更	箱ひげ図について、図に表されている内容を、次の文章に変更した。 最小値、第1四分位数、中央値、第3四分位数、最大値の5つの値を図示することによって、データの分布の広がりをわかりやすく表現した図を「箱ひげ図」という。	編集の具体的内容(3)①

(別紙 2)